

会議開催結果

1 会議の名称	令和８年度第１回砥部町総合計画等審議会
2 開催日時	令和８年９月１６日（水） １３時３０分～１４時３７分
3 開催場所	砥部町役場 ２階 大会議室
4 審議等事項	(１) 第３次砥部町総合計画の策定について (２) 第２期砥部町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について (３) 新しい地方経済・生活環境創生交付金の効果検証について (４) その他
5 出席者名	【出席委員】 （９名） 壽野春幸、山下英治、坂本幸恵、田本克彦、徳永なみじ 長野照由、上田文雄、村山瑞穂、柳田栄理子 【事務局】 森本（企画財政課長）、菊池（同課課長補佐）、門田（同課主事） 【業務委託事業者】 大場、石丸（株式会社ぎょうせい）
6 公開又は非公開の別	公開
7 非公開の理由	—
8 傍聴人数	０人
9 所管課	企画財政課 企画政策係（電話 089-909-4670）

令和 8 年度第 1 回砥部町総合計画等審議会 会議録

発言者	発 言 内 容
事務局	【開会・進行案内（13:30）】 ・開会あいさつ ・配布資料確認
会長	・会長あいさつ
事務局	・自己紹介
事務局（事業者）	【議題 1：第 3 次砥部町総合計画の策定について】 （説明要旨：株式会社ぎょうせい） ・最上位計画である第 2 次総合計画が令和 9 年度末で満了するため、令和 10～19 年度（10 年間）を期間とする「第 3 次砥部町総合計画」を令和 8・9 年度の 2 年間で策定する。 ・基本構想（10 年間）、基本計画（前後期各 5 年）、個別計画の体系および「地方創生総合戦略」との一体策定について説明。 ・国の動向（地域未来戦略等）を踏まえた策定方針と推進体制、策定スケジュール（令和 8・9 年度）を提示。
委員	■国の「地域未来戦略」の具体像について 【意見】 国が進める「地域未来戦略」とは具体的にどのような考え方や方向性のものか。
事務局（事業者）	【回答】 従来の国の基本方針は「人口減少をいかに食い止めるか」に重点が置かれていたが、近年（ここ 2～3 年）は「人口減少を受け入れつつ、いかに持続可能な地域や強い地方経済を構築するか」という方針へと大きく転換している。
委員	■企業誘致・空き物件活用と移住者の定住促進について 【意見】 広田地区をはじめとする公共の大型空き物件への企業進出・

事務局（事業者） 会長	活用や、企業が参入しやすい地域環境づくりが不可欠である。また、移住者においては広い土地や家を求めて自営業やテレワーク、農業などを行うケースが増えているため、農地や農業後継者の育成にもつなげるような施策が必要である。 〔回答〕 企業誘致や公共物件の活用は、町全体の計画の中で各要素を統合し、受け入れ環境の整備を含めて検討していく。 町の財政状況や人口減少・少子高齢化の厳しい現状に触れ、移住者呼び込みや防災強化、子育てしやすい環境づくりなど、若者から高齢者まで安心して住めるまちづくりの必要性がある。
事務局	【議題２：第２期砥部町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について】 （事務局説明）
委員 事務局 委員	◇移住フェアの参加状況と農協（JA）との連携について 〔質問〕 東京や大阪での就農・移住フェアへの参加状況はどうなっているか。大阪のフェア等では「愛媛で農業がしたい」という移住相談が多く寄せられているため、農協（JA）の新規就農センターなどと合同でブース出展・働きかけを行えば、より多くの移住者獲得につながるのではないかと。 〔回答〕 年に数回、東京や大阪等で開催されるフェアに町も参加している。農協等の相談窓口やフェアと連携した取組についても、関係機関と協議・連絡を取りながら積極的な活用を検討していく。 ■広田地域の「山村留学」の今後について 〔質問〕 広田地域で実施している山村留学について、児童数の減少に伴い廃止（廃校等）になる予定はあるか。

事務局	〔回答〕 現時点で廃止する予定はない。ただし、施設・建物自体がかなり老朽化しているため、将来的な建物の建て替え・更新時期を迎えるタイミングで、事業のあり方や存続について検討が必要になる見込みである。
委員	■創業・企業立地相談件数の伸び悩み理由について 〔質問〕 企業立地相談件数が伸び悩んでいる原因や、相談が途中で止まってしまう背景は何か。
事務局	〔回答〕 相談に来る企業の多くは工場等の敷地（土地）を探しているが、求めている敷地面積が広大であるため町内に合致する適地がなく、土地紹介で交渉が終わってしまうことが主な原因である。
委員	■KPI（評価指標）の優先順位付けについて 〔質問〕 75 項目ある指標の中で、優先順位はどのように設定されているか。
事務局	〔回答〕 各基本目標の直下に最上位の数値目標（合計特殊出生率など）が配置され、各事業・施策の KPI がツリー状にぶら下がる構造となっている。そのため、最上位目標の達成に直接結びつく指標が実質的な優先項目となる。
委員	■移住者向け住宅改修支援制度の改善要請 〔意見〕 現行の住宅改修補助は要望が少なく、実際の利用実績が数件にとどまっている。空き家対策・移住促進の観点から、建物の改修補助ではなく、家財道具の搬出・処分費用への補助など、利用者が使いやすい制度設計に転換すべきである。

事務局	【回答】 制度の応募が少ないことから、令和８年度で現行補助金を終了し、令和９年度から家財搬出・廃棄費用の補助など利便性の高い制度へ転換・見直しを検討している。
事務局	【議題３：新しい地方経済・生活環境創生交付金の効果検証について】 （事務局説明）
委員	◇避難所生活環境改善トイレカーの実績値「０」の理由と運用について 【質問】 トイレカーの活用回数が「０」となっている理由は何か。また、どのような仕様でどのように活用されるのか。
事務局	【回答】 国の交付金を活用した全国的な一斉発注によりメーカーの納入が遅れたことが今年度実績「０」の理由である。購入したトイレカーは軽トラックサイズ（２台保有）で、水タンク容量２５０Ｌ（約５６回使用可能）の小型仕様である。災害時の仮設トイレ設置までの初期対応のほか、砥部焼まつり等の町内イベントや総合防災訓練で展示・活用し、防災啓発と試用を行っていく。
委員	【議題４：その他】 ■大南地区・伝統産業会館裏（北駐車場）の夜間照明設置について 【要望】 大南の伝統産業会館裏にある駐車場が夜間非常に暗く、商工会や会館の利用者が歩く際に危険で防犯上も問題があるため、照明設置等の対策を講じてほしい。
事務局	【回答】 伝統産業会館は町の所有施設であるため、地元地区（上ノ山区）への確認を含め、防犯対策としての対応を検討する。

事務局

【閉会（14:37）】

- ・ 事務連絡
- ・ 閉会宣言 14:37